

江田島市の教育，学術及び文化の 振興に関する総合的な施策の大綱

対象とする期間：平成27年度から平成31年度まで



平成27年7月

江田島市

目 次

はじめに	1
1 学校教育の充実	2
(1) 学校教育の内容（小中学校）	2
ア 現状と課題	2
イ 施策の方向	2
ウ 主な取組	2
(2) 学校と地域・家庭との信頼関係	3
ア 現状と課題	3
イ 施策の方向	3
ウ 主な取組	3
(3) 学校施設の整備	4
ア 現状と課題	4
イ 施策の方向	4
ウ 主な取組	4
2 生涯学習の充実	4
(1) 生涯学習活動の支援	4
ア 現状と課題	4
イ 施策の方向	5
ウ 主な取組	5
(2) 社会教育施設の整備	5
ア 現状と課題	5
イ 施策の方向	6
ウ 主な取組	6
(3) 伝統文化・文化財の保存	6
ア 現状と課題	6

イ	施策の方向	6
ウ	主な取組	6
3	スポーツの振興	7
(1)	スポーツ・レクリエーションの普及・振興	7
ア	現状と課題	7
イ	施策の方向	7
ウ	主な取組	7
(2)	社会体育施設の整備	8
ア	現状と課題	8
イ	施策の方向	8
ウ	主な取組	8
4	対象とする期間	8

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正に伴い、平成27年4月1日から、総合教育会議を設置し、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を定めるものとされました。

この会議は、教育に関する予算の編成・執行、条例提案など重要な権限を有している市長と、教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るためのものです。

また、この大綱は、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

本市では、平成27年7月21日に、平成27年度第1回江田島市総合教育会議を開催しました。

この会議の中で、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱についての協議を行い、構成員から、第2次江田島市総合計画の「教育・文化部門」を抜粋することに賛同を得ました。

これを受けて、「江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定しました。

なお、この大綱の対象とする期間は、第2次江田島市総合計画の実施計画の期間と整合性を持たせることとし、平成27年度から平成31年度までとしました。

今後は、この大綱に沿って、教育行政を推進してまいります。

平成27年7月

江田島市長 田 中 達 美

江田島市の教育，学術及び文化の振興に関する総合的
な施策の大綱

1 学校教育の充実

< 施策の目標（目指す姿） >

生きる力が育まれ，信頼される学校づくりが進んでいます

(1) 学校教育の内容（小中学校）

ア 現状と課題

「確かな学力」，「豊かな心」，「健やかな体」の知・徳・体の調和がとれ，生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間の育成が求められています。

江田島市の状況を，学力調査，生徒指導上の調査，体力・運動能力調査等において国や県と比較すると，おおむね同水準にあります。しかし，学力における知識・技能を活用する力や体力・運動能力の一部に課題があり，問題行動が発生している状況もあります。

また，グローバル化や情報化が進展している状況があります。

イ 施策の方向

各調査結果を分析し，授業改善等を行うことにより，「確かな学力」，「豊かな心」，「健やかな体」をバランスよく育成し，その水準を向上させます。

また，急速に進展するグローバル化や情報化への対応を図ります。

ウ 主な取組

(ア) 授業改善等による学力の定着・向上

(イ) 発達段階に応じた道徳教育及び人権教育の推進

(ウ) 集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進

- (エ) 自己指導能力を育成する生徒指導の充実
- (オ) 体力づくりの場の充実等による体力・運動能力の向上
- (カ) 学校・家庭・地域が一体となった食育の推進
- (キ) 言語活動の充実等によることばの教育の推進
- (ク) 発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進
- (ケ) 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- (コ) 江田島市内の校種間（小・中・高・特別支援学校）連携の推進
- (サ) グローバル化・情報化に対応する教育の推進

(2) 学校と地域・家庭との信頼関係

ア 現状と課題

信頼される学校づくりのためには、教職員個々の資質・指導力を高めるとともに、学校組織の機能化を図ることが重要です。また、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域との連携を図る必要があります。

各学校では、教職員の資質・指導力の向上を図るため、校内外での研修を計画的に実施しています。また、全教職員が学校の課題を共有し組織的に取り組むため、学校評価を行い、課題の改善を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進しています。

イ 施策の方向

組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を図ることにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。

ウ 主な取組

- (ア) 教職員の資質・指導力の向上（教職員研修の充実、OJT等）
- (イ) 開かれた学校づくりの推進（学校評価の充実、ホーム

ページの充実，学校へ行こう週間の開催等)

(3) 学校施設の整備

ア 現状と課題

児童生徒数が減少する中，学校規模の適正化（学校再編）を図りながら，老朽化した校舎等の耐震化，修繕及び改修を行っています。学校統合による遠距離通学の児童生徒への対応が必要です。

また，急速に進展する情報化に対応するための，ICT機器の整備も計画的に行っています。

イ 施策の方向

安全・安心な教育環境を整備するため，老朽化した校舎等の耐震化，修繕及び改修を行うとともに，学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。

また，教育の情報化に対応するため，ICT機器の整備を計画的に行います。

ウ 主な取組

- (ア) 学校施設の耐震化及び改修
- (イ) 学校施設・設備の管理・整備
- (ウ) ICT機器の整備
- (エ) 遠距離通学への対応

2 生涯学習の充実

< 施策の目標（目指す姿） >

誰もが生涯を通じて学び，活動し，生きがいを感じ，輝いています

(1) 生涯学習活動の支援

ア 現状と課題

人々が，生涯のいつでも，自由に学習機会を選択して学ぶ

ことができ、その成果が適切に評価される「生涯学習社会」の実現が求められています。

江田島市の生涯学習活動をみると、公民館、図書館などにおいて様々な活動が行われていますが、一方で、参加者が限られていること、若い世代が少ないことなどが指摘されます。

イ 施策の方向

市民ニーズにあった講座を実施するなど、公民館講座の充実を図ります。

また、内容の検討、積極的な広報等を行い、市美術展など文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、児童や青少年の居場所づくり、体験学習などの機会の確保・充実に取り組みます。

更に、人権教育啓発の効果的な事業展開や、図書館利用について、市民の要望や意見等を参考にしながら利便性を高め、利用者の増加に努めます。

ウ 主な取組

(ア) 市民ニーズに応じた公民館学習の支援や交流機会の提供

(イ) 講演等による人権教育の推進

(ウ) 公立図書館の連携や読書グループの育成などによる図書館サービスの充実

(エ) 文化芸術を鑑賞する機会の確保

(オ) 放課後の遊びや生活の場の確保

(2) 社会教育施設の整備

ア 現状と課題

江田島市には、生涯学習を支える施設などが多数ありますが、類似した施設が近隣に立地しているケースがあることや施設の老朽化などが指摘されます。

人口減少や厳しい財政状況が続く中、公共施設の役割分担

や連携などを検討しながら、全市的な視野に立って社会教育施設などのあり方を明らかにし、再編・整備や有効活用に取り組んでいく必要があります。

イ 施策の方向

生涯学習の活動拠点となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、社会教育施設の再編・整備について検討します。

ウ 主な取組

社会教育施設の効率的な管理運営

(3) 伝統文化・文化財の保存

ア 現状と課題

江田島市には、海上自衛隊（旧海軍兵学校）のレンガ建築をはじめ、数多くの歴史遺産や美しい風景が息づいており、各地域において伝統行事などが継承されています。

しかし、こうした歴史遺産などが十分生かされていない面があったり、人口減少や高齢化等により、保存・活用が難しくなったりしている現状があります。

また、伝統文化や文化財の保存などに関わる団体の会員数が増えないという課題があります。

イ 施策の方向

江田島市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保存などに関わる団体を活性化します。

市民の文化財についての興味や関心を高めるとともに、文化財の保存・管理を適切に行い、地域の宝である文化財を次世代に継承していきます。

ウ 主な取組

(ア) 伝統文化・芸能の保存・継承

(イ) 古文書研修等と連携した文化財の保存・管理の推進、

継承

(ウ) 歴史・郷土施設の活性化

3 スポーツの振興

< 施策の目標（目指す姿） >

誰もが、興味や体力等に応じて、スポーツ・レクリエーションに親しんでいます

(1) スポーツ・レクリエーションの普及・振興

ア 現状と課題

江田島市では、生涯にわたって誰もが気軽にスポーツを楽しむ、明るく住みよい地域づくりに貢献することを目的として、平成22年2月に総合型地域スポーツクラブが設立されました。

また、社会体育施設だけでなく、海と島の特色を生かした屋外におけるスポーツ・レクリエーションの環境を備えています。

イ 施策の方向

地域で行う運動会をはじめ、各種スポーツ大会において、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。

総合型地域スポーツクラブについては、市民ニーズに対応した運営を行うために、事務局体制の強化や指導者のスキルアップ、運営プログラムの充実などを図っていくとともに、市体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し充実に努めます。

ウ 主な取組

(ア) 地域スポーツの振興

(イ) ジュニアスポーツの振興

(ウ) 競技スポーツの振興

(エ) マラソン大会などのスポーツイベントの開催

(2) 社会体育施設の整備

ア 現状と課題

江田島市には、スポーツセンターや武道館、体育館など、スポーツ・レクリエーション施設が多数立地していますが、施設の老朽化や立地的な偏りなどが指摘されます。

イ 施策の方向

スポーツ活動の場となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション施設などの再編・整備について検討します。

ウ 主な取組

スポーツ施設の効率的な管理運営

4 対象とする期間

平成27年度から平成31年度まで